Creative Enzymes®

サーモトガ・マリティマ由来ペクチンリラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1560

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ペクチン酸リラーゼ (EC 4.2.2.2) は、植物組織のマセレーションと軟腐敗に関与する酵素です。ペクチン酸リラーゼは、ペクチン酸の除去的切断を行い、非還元末端に4-デオキシ-α-D-マンナン-4-エヌロン酸基を持つオリゴ糖を生成します。このタンパク質は、花粉発生の後期に最大限に発現します。ペクチン酸リラーゼ遺伝子の花粉発現は、花粉管の成長中のペクチン分解の必要性に関連している可能性があると示唆されています。この酵素は、特に多糖類に作用する炭素-酸素リラーゼのファミリーに属します。
別名	(1->4)-アルファ-D-ガラクツロン酸リラーゼ; ポリガラクツロン酸トランスエリミナーゼ; ペクチン酸トランスエリミナーゼ; ポリガラクツロン酸リラーゼ; エンドペクチンメチルトランスエリミナーゼ; ペクチン酸トランスエリミナーゼ; エンドガラクツロン酸トランスエリミナーゼ; ペクチン酸リラーゼ; ペクチンリラーゼ; アルファ-1,4-D-エンドポリガラクツロン酸リラーゼ; PGAリラーゼ; PPase-N; エンドアルファ-1,4-ポリガラクツロン酸リラーゼ; ポリガラクツロン酸リラーゼ; ペクチン・トランスエリミナーゼ; ポリガラクツロン酸・トランスエリミナーゼ; ペクテートリラーゼ; EC 4.2.2.2

製品情報

種	サーモトガ・マリティマ
由来	大腸菌
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 4.2.2.2
CAS登□番号	9015-75-2
分子量	39.7 kDa
純度	>SDS-PAGEによる評価で90%
濃度	1 mg/mL
最適pH	8.5
最適温度	37 °C
特異性	メチルエステル化シトラスペクチン

保管・発送情報

保存方法	この酵素は室温で発送されますが、-20 °Cで保存する必要があります。